

今後の治水対策のあり方に関する  
有識者会議

資料

中央大学 理工学部  
都市環境学科  
山田 正

2010年2月18日

## 流出、降雨、ダムに関する論文リスト

### 流出に関する論文

(査読付論文)

呉修一，山田正：既往概念モデルの理論的導出，水文・水資源学会誌,第 22 卷, No.5,Sep.2009

呉修一，山田正，吉川秀夫：有効降雨の推定に関する研究，土木学会論文集 B, 第 65 卷, No.3 ,pp.231-245,2009.

赤羽裕也，呉修一，山田正：都市流域における現地流量観測と都市化が洪水流出特性に与える影響，土木学会水工学論文集, 第 52 卷,pp.481-486,2008.

呉修一，下坂将史，山田正：降雨流出における流域スケールに応じた斜面と河道の効果，土木学会水工学論文集,第 51 卷, pp.421-426,2007.

呉修一，山田正：降雨流出における斜面と河道の効果に関する研究，土木学会水工学論文集, 第 50 卷, pp.337-342,2006.

呉修一，山田正，吉川秀夫：表面流の発生機構を考慮した斜面多層降雨流出計算手法に関する研究，水工学論文集第 59 卷, pp.169-174,2005.

呉修一，腰塚雄太，山田正：ハイドログラフの逓減特性を用いた流出特性の抽出，水工学論文集,第 48 卷, pp.13-18,2004.

安田浩保，山田正，後藤智明：スルースゲートの閉鎖に伴い発生する段波の水理実験とその数値計算，土木学会論文集,第 63 卷, II-63,pp.89-106,2003.5.

山田正：山地流出の非線形性に関する研究，水工学論文集, 第 47 卷, pp.259-264,2003.

安田浩保，白土正美，後藤智明，山田正：高速演算性と精緻性を有する浸水域予測計算システムの開発，水工学論文集,第 45 卷, pp.889-894,2001.

大原憲明，松木浩志，志村光一，山田正：水理計算に基づく大規模河道の洪水流出特性に関する研究，水文・水資源学会誌,第 14 卷, No.3,pp.217-228,2001.3

安田浩保, 後藤智明, 山田正 : 那珂川下流域を対象とした高速洪水氾濫モデルの開発, 河川技術に関する論文集,第 6 巻, pp.309-314,2000.

山田正, 日比野忠史, 荒木隆, 中津川誠 : 山地流域での降雨特性に関する統計的解析, 土木学会論文集, No.527,II-33,pp.1-13,1995,11.

品川守, 山田正, 豊田康嗣 : 洪水ハイドログラフの形成過程と治水対策の効果に関する研究, 水文・水資源学会誌,第 5 巻, No.3,pp.23-31,1992.

---

(口頭発表論文)

Kenta.ODA, Shuichi.KURE, Tadashi.YAMADA, Ryou.EBANA, Akito.WATANABE, Naoki.WATANABE: EFFECTS OF SPATIAL DISTRIBUTION OF HYDROLOGICAL CHARACTERISTICS TO RUNOFF,World City Water Forum,2009.

田名辺剣児, 織田賢太, 岡部真人, 山田正 : 降雨流出計算における河道の効果の検討, 土木学会第 64 回年次学術講演会講演会,2009.

織田賢太, 岡部真人, 呉 修一, 山田 正 : 水文特性の空間分布が降雨流出に与える影響, 土木学会第 64 回年次学術講演会講演会,2009.

Kenta ODA, Shuichi.KURE, Ryou EBANA, Tadashi.YAMADA : A Study on the Effects of Spatial Distribution of Hydrologic Characteristics on Runoff in a large scale catchment, 4<sup>th</sup> APHW in BeiJing,2008.

S. KURE, A. TOMIZAWA, R. Ebana, T. YAMADA: Effects of Spatial Distribution of Hydrological characteristics on Runoff according to the Spatial Scale of Catchments, EWRI08,2008.

織田賢太, 呉修一, 山田正,岡部真人: 水文特性の空間分布が降雨流出に及ぼす影響の解明, 第 35 回関東支部技術研究発表会,2008.

呉修一, 山田 正 : 物理的観点からの合理式, 貯留関数法, タンクモデルの導出, 土木学会第 62 回年次学術講演会講演会,2007.

岡部 真人, 呉 修一, 山田 正: 回路図を用いた新しい分布定数型降雨流出モデルの構築, 土木学会関東支部技術研究発表会, 第 34 巻, ppII-012, 2007.

呉修一, 下坂将史, 江花亮, 山田正: 降雨流出における河道の効果に関する研究, 水文・水資源学会 2006 年研究発表会, P-58, 2006.

下坂将史, 呉修一, 戸谷英雄, 山田正: 洪水流出特性に基づくダム貯水池操作に関する研究, 水文・水資源学会 2006 年研究発表会, P-80, 2006.

富沢彰仁, 呉修一, 江花亮, 山田正: 単一斜面における土壌特性の空間分布が降雨流出に与える影響に関する研究, 第 33 回関東支部技術研究発表会, II-1-9, 2006.

小澤剛, 赤羽裕也, 劉金双, 山田正: 都市域における流出率の推定, 第 33 回関東支部技術研究発表会, II-1-14, 2006.

赤羽裕也, 呉修一, Feng Yan, 山田正: 市街化率の変化が洪水流出特性に与える影響, 第 33 回関東支部技術研究発表会, II-1-16, 2006.

劉金双, 呉修一, 江花亮, 山田正: 小流域における水質ハイドログラフの形成過程およびその予測手法に関する研究, 第 33 回関東支部技術研究発表会, II-1-35, 2006.

呉修一, 下坂将史, 江花亮, 山田正: 降雨流出における流出スケールに応じた河道の効果に関する研究, 土木学会第 61 回年次学術講演会, II-036, 2006.

赤羽裕也, 呉修一, 山内格, 山田正: 市街化率の上昇が洪水流出特性に与える影響, 土木学会第 61 回年次学術講演会, II-028, 2006.

重住 基, 呉 修一, 山田 正, 降雨流出現象における斜面効果と河道効果に関する研究, 土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, 第 31-32 巻, pp196-197, 2004.

重住基, 呉修一, 山田正: 降雨流出現象における斜面効果と河道効果に関する研究, 第 31 回関東支部技術研究発表会, II-98, 2004.

呉修一, 土屋修一, 山田正: 降雨流出現象における非線形性と流出特性に関する研究, 第 30 回関東支部技術研究発表会, II-30, 2003.

呉 修一, 土屋 修一, 山田 正, 降雨流出現象における非線形性と流出特性に関

する研究, 土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, 第 30-2 巻, pp57-58, 2003.

朝倉邦友, 志村光一, 山田正: 阿賀野川流域における流出特性の経年変化に関する研究, 土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, 第 27 巻, pp310-311, 2000

加藤琢朗, 松木浩志, 志村光一, 山田正: 山地流域である福島県小玉川流域の流出特性に関する研究, 土木学会第 55 回年次学術講演会, II-105, pp.210-211, 2000.

加藤琢朗, 松木浩志, 山田正, 志村光一: 山地小流域における流域スケールと流出率に関する研究, 第 27 回関東支部技術研究発表会, II-55, pp.308-309, 2000.

朝倉邦友, 志村光一, 山田正: 阿賀野川流域における流出特性の経年変化に関する研究, 第 27 回関東支部技術研究発表会, II-56, pp.310-311, 2000.

板谷越朋樹, 志村光一, 山田正, 佐藤武司: 都市域を流れる多自然型河川とその流出特性に関する研究, 第 27 回関東支部技術研究発表会, II-58, pp.314-315, 2000.

圓地 哲文, 山田 正, 志村 光一, 村田 裕, 永島 健: 山地における降雨形態の特性に関する研究, 平成 10 年度土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, 第 26 巻, pp254-255, 1999.

松木浩志, 山田正, 池永均, 大原憲明: 山地小流域の降雨流出特性に関する考察, 第 25 回関東支部技術研究発表会講演概要集, II-38, pp.242-243, 1998.

大原憲明, 池永均, 山田正, 尾崎宏, 内島邦秀: 山地小流域の流出特性に与える地形特性の効果, 第 52 回土木学会年次学術講演会講演概要集, II-157, pp.314-315, 1997.

内島邦秀, 山田正, 馬成鎬, 大嶋俊久: 渡川(四万十川)流域における流出特性に関する研究, 第 22 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.212-213, 1995.

斉藤大作, 松浦正典, 山田正: 山地流域における地形性降雨の分布特性, 土木学会第 49 回年次学術講演会講演概要集, II-32, pp.64-65, 1994.

山田正，日比野忠史，外山誠：日本の河川における流出特性について，第21回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，pp.186-187,1994.

山田 正，豊田 康嗣，洪水流出の基本的特性とハイドログラフの形成過程に関する研究，土木学会北海道支部平成元年度論文報告集第46巻，369-374,1990.

洪 延芳，藤田 睦博，山田 正，長谷川 和義 タイトル(和)：宮の森小試験地における融雪・降雨流出の比較，土木学会北海道支部昭和62年度論文報告集第44巻，239-244,1988.

藤田 睦博，洪 延芳，山田 正，長谷川 和義：宮の森小試験地における流出特性と横流入に関する研究,土木学会北海道支部昭和61年度論文報告集第43巻，pp211-216,1987.

## 降雨に関する論文

(査読付論文)

笹尾将登, 土屋修一, 山田正: 実スケール雲物理実験における時空間変化する粒子数濃度と雲水量の関係, 水工学論文集第 51 巻, pp. 319-324, 2007.

Assela PATHIRANA, Tadashi YAMADA: IDEALIZED SIMULATION OF OROGRAPHIC RAINFALL WITH A MESOSCALE ATMOSPHERIC MODEL, Annual Journal of Hydraulic Engineering, JSCE, Vol.48, pp.295-300, 2004.

Assela PATHIRANA, Masafumi YAMAGUCHI, Tadashi YAMADA: IDEALIZED SIMULATION OF AIRFLOW OVER A MOUNTAIN RIDGE USING A MESOSCALE ATMOSPHERIC MODEL, Annual Journal of Hydraulic Engineering, JSCE, Vol.47. pp.31-36, 2003.

志村光一, 原久弥, 山田正: レーダ雨量計を用いた関東平野における降雨形態の分類と発生メカニズムに関する考察, 水工学論文集第 44 巻, pp.97-102, 2000.

山田正, 池永均, 松浦正, 萬矢敦啓, 志村光一: 大気中のエアロゾルが降雨現象に及ぼす影響に関する研究, 土木学会論文集, No.614, II-46, pp.1-20, 1999.2

山田正, 日比野忠史, 志村光一, 蓑島弥成, 鈴木敦: 雨滴の衝突による雨滴粒径分布の高度変化を考慮したレーダ雨量計の精度向上に関する研究, 土木学会論文集, No.628, II-48, pp.1-20, 1999.8

山田正, 日比野忠史, 中津川誠, 藤沢充哲, 森永博史: レーダ雨量計情報の動画像解析による降雨予測手法の提案と流域平均降雨量の推定法に関する研究, 土木学会論文集, No.558, II-38, pp.13-30, 1997.2.

池永均, 久米仁志, 森田寛, 山田正: ドップラーレーダを用いたメソ  $\beta$  スケール降雨特性の解析, 水工学論文集第 41 巻, pp.147-154, 1997.2.

山田正, 日比野忠史, 鈴木敦, 蓑島弥成, 中津川誠: 新しいタイプのレーザー雨滴計の開発とこれを用いた降雨の雨滴分布の観測, 土木学会論文集, No.539, II-35, pp.15-30, 1996.5.

山田正, 日比野忠史, 深和岳人, 松浦正典, 藤吉康志, 播磨屋敏生, 稲毛正昭, 中津川誠: 実スケールの雲物理実験と降雨モデルによる雲の微物理過程の考察, 土木学会論文集, No.509,II-30,pp.1-13,1995,2.

山田正, 日比野忠史, 荒木隆, 中津川誠: 山地流域での降雨特性に関する統計的解析, 土木学会論文集, No.527,II-33,pp.1-13,1995,11.

---

(学会発表論文)

小田村康幸, 加藤拓磨, 山田正: 凝結過程における気象因子の鉛直構造, 第34回関東支部技術研究発表会, II-51,2008.

荒川貴志, 佐藤航, 加藤拓磨, 山田正: 関東平野における降雨の移動と強度の関係, 第34回関東支部技術研究発表会, II-45,2008.

Kato Takuma, Odamura Yasuyuki, Yamada Tadashi: Space Variance of Meteorologic Factor in Condensation Process using Artificial Cloud Experiment System, 4th APHW, S3\_12,2008.

Arakawa Takashi, Kato Takuma, Yamada Tadashi: Characteristics of heavy rain around the Tokyo area, 4th APHW,S2-16,2008.

小田村康幸, 笹尾将登, 加藤拓磨, 土屋修一, 山田正: 雲生成時に空間変化する雲粒の粒子数濃度, 土木学会第62回年次講演会, II-010,2007.

小田村康幸, 笹尾将登, 土屋修一, 山田正: 実スケール雲物理実験における雲粒の粒子数濃度と雲水量の鉛直構造, 第33回関東支部技術研究発表会, 02-0017, 2007.

佐藤航, 土屋修一, 山田正: 関東平野における海陸風日の高層での風の特徴, 第33回関東支部技術研究発表会, 02-0018,2007.

Tsuchiya Shuichi, Yamauchi Kaku and Yamada Tadashi: The Effect of Aerosol Influence to Cloud Microphysics using Artificial Cloud Experiment System, 3rd APHW, ST1-01-A02-400,2006.



Sato Wataru, Ture Shuichi, Yaku Kaku, and Tadashi Yamada: Analysis of Rainfall Characteristics Using a Doppler Radar, 3rd APHW, ST1-01-A02-425,2006.

笹尾将登, 土屋修一, 山田正: 実スケール雲物理実験における時空間変化する粒子数濃度と雲水量の関係, 第 51 回水工学講演会, pp319-324, 2006.

土屋修一, 笹尾将登, 山田正: 実スケール雲物理実験によるエアロゾル数濃度と雲水発生量の関係, 第 61 回土木学会年次講演会, 2-051, 2006.

小林勝, 平野廣和, 山田正: 関東平野における雷雨性降雨日の風の場の構造に関する研究, 第 33 回関東支部技術研究発表会, II-1-3, 2006.

佐藤航, 土屋修一, 山田正: 関東平野における雷雨性降雨の強雨分布特性, 第 33 回関東支部技術研究発表会, II-1-4, 2006.

笹尾将登, 土屋修一, 山田正: 準実スケール雲物理実験による雲底付近の雲粒生成過程に関する研究, 第 33 回関東支部技術研究発表会, II-1-6, 2006.

笹尾将登, 土屋修一, 山田正: 上昇風速及びエアロゾルが雲粒の成長に与える影響, 第 60 回土木学会年次学術講演会, II-002,2005.

小林勝, 土屋修一, 平野廣和, 山田正: 関東平野における雷雨性降雨と風の場の構造に関する研究, 水文水資源学会 2005 年研究発表会要旨集, 2005.9.

大和田勝, 土屋修一, 岡田将治, 山田正: 関東平野における雷雨性降雨の移動特性, 第 32 回関東支部技術研究発表会, II-1-25,2005.

笹尾将登, 土屋修一, 岡田将治, 山田正: 実スケール雲物理実験によるエアロゾル粒子の凝結成長と雲水量の関係, 第 32 回関東支部技術研究発表会, II-1-27, 2005.

大畑義仁, 土屋修一, 岡田将治, 山田正: 実スケール雲物理実験による雲粒子成長過程の粒径別粒子数濃度との関係, 第 32 回関東支部技術研究発表会, II-1-28, 2005.

土屋修一, 岡田将治, 山田正: 実スケール雲物理実験による上昇風がエアロゾル粒子の凝結成長に及ぼす影響, 土木学会第 59 回年次学術講演会, II-005,2004.

Assela Pathirana, Srikantha Herath, Yamada Tadashi: Incorporating Aerosol Radiative Forcing Effects into Rainfall Simulations, Proceeding of 2004 Annual Conference, Japan Society Hydrology and Water Resources, pp.114-115,2004.

A. PATHIRANA, S.Herath, and T.Yamada: Estimating Rainfall Distributions at High Temporal Resolutions Using a Multifractal Model, Hydrology and Earth System Sciences, Vol.7(5), pp.668-679,2004

土屋修一，岡田将治，山田正：実スケール雲物理実験による上昇風が降雨形成に及ぼす影響に関する研究，水文水資源学会 2004 年研究発表会要旨集, pp.116-117,2004.

小林勝，岡田将治，平野廣和，山田正：関東平野における強降雨域と風の場の構造に関する研究，水文水資源学会 2004 年研究発表会要旨集, pp.120-121,2004.

大畑義仁，土屋修一，岡田将治，山田正：実スケール雲物理実験によるエアロゾルと雲水発生量の関係に関する研究，水文水資源学会 2004 年研究発表会要旨集, pp.238-239, 2004.

大和田勝，阿部陽一，土屋修一，山田正：夏期の関東平野における強雨域の移動特性，水文水資源学会 2004 年研究発表会要旨集, pp.242-243, 2004.

大和田勝，阿部陽一，土屋修一，山田正：関東平野に発生する降雨の事例解析，第 31 回関東支部技術研究発表会, II-53, 2004.

大畑義仁，土屋修一，山田正：実スケール雲生成実験によるエアロゾル及び上昇風速が雲の微物理過程に及ぼす影響の解明に関する研究，第 31 回関東支部技術研究発表会, II-57, 2004.

阿部陽一，大和田勝，土屋修一，山田正：関東地方における降雨・強雨の発生地点と移動方向に関する研究，第 31 回関東支部技術研究発表会, II-59, 2004.

土屋修一，阿部陽一，山田正：10 分間及び 1 時間降雨強度の関係と降雨の地域特性に関する研究，第 31 回関東支部技術研究発表会, II-60, 2004.

阿部陽一，大和田勝，土屋修一，山田正：夏期の関東平野における強雨特性に関する研究，土木学会第 58 回年次学術講演会, II-002, 2003.

大和田勝, 阿部陽一, 土屋修一, 山田正: 関東平野における降雨分類とレーダ  
累積降雨量に関する研究, 土木学会第 58 回年次学術講演会, II-003, 2003.

A.Pathirana, S.Herath, and T.Yamada: On the Modeling of Temporal Correlations in  
Spatialcascade Rainfall Downscaling, Weather Radar Information and Distrituted  
Hydrological Modelling(Proceedings of symposium HS03 held during IUGG2003 at  
Sapporo, July 2003), Vol.IAHS Publ. No.282, pp.74-82,2003.

Assela Pathirana, Yamada Tadashi: Idealized Modeling of Orographic Rainfall with a  
Mesoscale Model, 第 22 回日本自然災害学会学術講演会講演概要集, pp177-178,  
2003.

Assela Pathirana, Yamada Tadashi: Rainfall Associated with Mountain-Flow -an  
Idealized Study, Proceeding of 2003 Annual Conference, Japan Society Hydrology and  
Water Resources, pp.116-117,2003.

A.Pathirana, S.Herath, and T.YAMADA: Using Fractals in Space-time Scaling of  
Rainfall, Asian Journal of Geophysics, Vol.3-3,pp.49-56,2003.

狩野学, 新井雅之, 松本浩一, 山田正: 夏季の関東平野における集中豪雨発生  
時の気象因子の変動に関する研究, 第 30 回関東支部技術研究発表会, II-3, 2003.

山口将文, 山田正: エアロゾルと雲水発生量に関する研究: 土木学会第 57 回年  
次学術講演会, II-250, 2002.

新井雅之, 松本浩一, 山田正: 関東平野における海風とエアロゾル輸送に関す  
る研究, 土木学会第 57 回年次学術講演会, II-251, 2002.

狩野学, 新井雅之, 串山宏太郎, 山田正: 関東地方における降雨発生日と降雨  
非発生日の気象因子の比較に関する研究, 第 29 回関東支部技術研究発表会,  
pp.272-273, 2002.

山口将文, 板谷越朋樹, 山田正: エアロゾルが雲粒成長過程に及ぼす影響に関  
する実験的研究, 第 29 回関東支部技術研究発表会, pp.284-285, 2002.

後藤友博, 土屋修一, 志村光一, 山田正: 累積降雨量分布に着目した関東平野  
における降雨解析, 土木学会第 56 回年次学術講演会, II-268, 2001.

土屋修一，後藤友博，志村光一，山田正：VAD法を用いた対流性降雨における風の場の解析，第28回関東支部技術研究発表会，II-58, pp.244-245, 2001.

山口将文，板谷越朋樹，志村光一，山田正：長大立坑を用いた雲物理実験による上昇風速が雲粒形成に及ぼす影響，第28回関東支部技術研究発表会，II-60, pp.248-249, 2001.

後藤友博，土屋修一，志村光一，山田正：都市域に発生する対流性降雨に関する一考察，第28回関東支部技術研究発表会，II-62, pp.252-253, 2001.

臼倉美樹，後藤友博，志村光一，山田正：レーザ雨滴計を用いたXバンドレーダによる降雨算定数手法に関する研究，第28回関東支部技術研究発表会，II-63, pp.254-255, 2001.

板谷越朋樹，坂田祐介，志村光一，山田正：エアロゾルが都市域に及ぼす影響に関する数値実験的研究，土木学会第55回年次学術講演会，II-126, pp.252-253, 2000.

関静香，加藤琢朗，志村光一，山田正：荒川水系における大雨の新記録出現理論に基づいた発生頻度に関する研究，土木学会第55回年次学術講演会，II-155, pp.310-311, 2000.

志村光一，山田正，板谷越朋樹：航空機観測における関東平野の夏期のエアロゾル分布特性，土木学会第55回年次学術講演会，VII, pp.498-499, 2000.

関静香，山田正，志村光一：荒川水系の新記録出現理論に基づく大雨と洪水の発生頻度に関する研究，第27回関東支部技術研究発表会，II-50, pp.298-299, 2000.

小山田香，山田正，志村光一，児玉勇人：レーザ雨滴計を用いたレーダ雨量強度の推定精度向上の手法に関する研究，第27回関東支部技術研究発表会，II-52, pp.302-303, 2000.

後藤友博，原久弥，志村光一，山田正：降雨の移動形態の違いによる累積降雨量分布の特性に関する研究，第27回関東支部技術研究発表会，II-53, pp.304-305, 2000.

志村光一，原久弥，山田正：レーダ雨量計が捉えた雨域の移動と上空の風の場の関係に関する研究，第54回土木学会年次学術講演会，II-328, pp.658-659, 1999.

板谷越朋樹，志村光一，山田正，萬矢敦啓：準実スケールの雲物理実験と数値実験による雲粒形成過程に関する研究，第 54 回土木学会年次学術講演会，II-332,pp.666-667, 1999.

坂田祐介，志村光一，山田正，萬矢敦啓：雲粒子の生成におけるエアロゾルの効果に関する実験的研究，第 54 回土木学会年次学術講演会，II-333,pp.668-669, 1999.

赤石一幸，志村光一，山田正，萬矢敦啓，坂田祐介：関東地方におけるエアロゾル数濃度の時空間分布に関する研究，第 54 回土木学会年次学術講演会，II-334,pp.670-671, 1999.

小山田香，志村光一，山田正，児玉勇人：レーザ雨滴計を用いて決定した降雨換算定数の面的な適用範囲に関する研究，第 54 回土木学会年次学術講演会，II-335,pp.672-673, 1999.

松浦直，佐藤武司，深見和彦，金木誠：直交二偏波レーダにより観測された雨滴粒径分布の時空間分布特性，水文水資源学会 1999 年研究発表会要旨集，pp.18-19, 1999.

原久弥，後藤友博，志村光一，山田正：PIV 法とレーダ画像を併用した降雨域の移流・発達特性に関する研究，水文水資源学会 1999 年研究発表会要旨集，pp.140-141, 1999.

板谷越朋樹，山田正，志村光一，松浦直，萬矢敦啓：準実スケールの雲物理実験と数値実験による雲粒生成過程に関する研究，第 26 回関東支部技術研究発表会講演概要集，II-39,pp.236-237, 1999.

竹内玄，山田正，志村光一，天野繁，原久弥：ドップラーレーダを用いた上層風推定手法の精度向上に関する研究，第 26 回関東支部技術研究発表会講演概要集，II-40,pp.238-239, 1999.

坂田祐介，山田正，志村光一，萬矢敦啓：雲の生成機構におけるエアロゾルの効果に関する実験的研究，第 26 回関東支部技術研究発表会講演概要集，II-42,pp.242-243, 1999.

赤石和幸, 山田正, 志村光一, 萬矢敦啓, 坂田祐介: 大気中におけるエアロゾル濃度の時空間的変動に関する研究, 第 26 回関東支部技術研究発表会講演概要集, II-43,pp.244-245, 1999.

小山田香, 山田正, 志村光一, 寶田桂一, 児玉勇人: レーザ雨滴計から得られた降雨検算定数の面的な適用範囲に関する研究, 第 26 回関東支部技術研究発表会講演概要集, II-45,pp.248-249, 1999.

佐藤武司, 深見和彦, 金木誠, 山田正, 松浦直: 直交二偏波レーダを用いた雨滴粒径分布の時空間分布特性に関する研究, 第 26 回関東支部技術研究発表会講演概要集, II-46,pp.250-251, 1999.

後藤友博, 山田正, 志村光一, 天野繁, 原久弥: レーダ雨量計でとらえた高度別降雨強度の時間変化に関する研究, 第 26 回関東支部技術研究発表会講演概要集, II-47,pp.252-253, 1999.

圓地哲文, 山田正, 志村光一, 村田裕, 永島健: 山地における降雨形態の特性に関する研究, 第 26 回関東支部技術研究発表会講演概要集, II-48,pp.254-255, 1999.

児玉勇人, 山田正, 志村光一: レーザー雨滴計を用いたレーダ雨量計の精度向上に関する研究, 第 53 回土木学会年次学術講演会講演概要集, II-6,pp.12-13, 1998.

村田裕, 志村光一, 山田正: 地形性降雨の発生原因の解明, 第 53 回土木学会年次学術講演会講演概要集, II-9,pp.18-19, 1998.

原久弥, 山田正, 志村光一: 関東平野における雷雨発生機構に関する研究, 第 53 回土木学会年次学術講演会講演概要集, II-10,pp.20-21, 1998.

志村光一, 山田正, 森田寛: 関東平野における対流性降雨の移動形態に関する研究, 第 53 回土木学会年次学術講演会講演概要集, II-11,pp.22-23, 1998.

坂田祐介, 山田正, 志村光一: 雲の生成に与えるエアロゾルの種類と粒径分布の効果に関する考察, 第 53 回土木学会年次学術講演会講演概要集, II-13,pp.26-27, 1998.

天野繁，原久弥，志村光一，山田正：ドップラーレーダを用いた前線性及び台風による降雨の解析，水文・水資源学会 1998 年研究発表会要旨集，pp.174-175，1998.

児玉勇人，山田正，池永均，寶田桂一：レーダ雨量強度の推定精度とレーダ定数の関係に関する研究，第 25 回関東支部技術研究発表会講演概要集，II-44,pp.254-255，1998.

原久弥，山田正，池永均，志村光一：海陸風の影響による雷雨の発生メカニズムに関する研究，第 25 回関東支部技術研究発表会講演概要集，II-45,pp.256-257，1998.

坂田祐介，山田正，池永均，萬矢敦啓：エアロゾルが雲の生成に与える影響に関する実験的研究，第 25 回関東支部技術研究発表会講演概要集，II-46,pp.258-259，1998.

黒田正寿，萬矢敦啓，松浦直，池永均，山田正，小作好明：エアロゾルの存在を考慮した降雨モデルの実地形への適用，第 52 回土木学会年次学術講演会講演概要集，II-131,pp.262-263,1997.

寶田桂一，志村光一，池永均，山田正，小作好明，鈴木敦：上空と地上で観測された降雨データの比較，第 52 回土木学会年次学術講演会講演概要集，II-136,pp.272-273，1997.

村田裕，黒田正寿，池永均，小作好明，山田正，中津川誠：レーダ動画と高層気象観測及び地上雨量観測による降雨特性の解析，第 52 回土木学会年次学術講演会講演概要集，II-137,pp.274-275，1997.

森田寛，天野繁，池永均，山田正，久米仁志，中津川誠：北海道，関東地方，中国地方，九州地方におけるレーダ動画像による降雨の解析，第 52 回土木学会年次学術講演会講演概要集，II-138,pp.276-277，1997.

萬矢敦啓，黒田正寿，松浦直，池永均，山田正：エアロゾルの種類とその粒径分布を考慮した降雨モデルに関する研究，水文水資源学会 1997 年研究発表会要旨集，pp.105-106,1997.

森田寛，天野繁，池永均，山田正，中津川誠：ドップラーレーダのレーダ動画像解析による関東地方の降雨特性 - 竜巻を伴う雷雨の観測，水文水資源学会 1997 年研究発表会要旨集，pp.201-202,1997.

寶田桂一，池永均，小作好明，志村光一，鈴木敦，山田正：新しい雨滴計とレーダ雨量計を用いた降雨の観測，第 24 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，II-62,pp.228-229,1997.

天野繁，池永均，山田正，久米仁志，森田寛：ドップラーレーダを用いた風の場の観測と温度風に関する研究，第 24 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，II-63,pp.230-231,1997.

萬矢敦啓，池永均，山田正，松浦直，斉藤大作，坂憲浩：エアロゾルの粒径分布が雲と雨の形成に及ぼす効果，第 24 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，II-67,pp.238-239,1997.

松浦直，池永均，山田正，斉藤大作，藤吉康志，播磨屋敏夫，稲毛正昭，福山力，太田幸雄：実スケールの雲物理実験とエアロゾルを考慮した雲モデルの改良，第 51 回土木学会年次学術講演会講演概要集，II-395,pp.790-791,1996.

久米仁志，池永均，森田寛，山田正，内島邦秀：1 台のドップラーレーダーを用いた風の場の観測，第 51 回土木学会年次学術講演会講演概要集，II-389,pp.778-779,1996.

柏谷和久，池永均，山田正，志村光一，鈴木敦，蓑島弥成：レーザー雨滴計により観測されたレーダ定数に関する研究，第 51 回土木学会年次学術講演会講演概要集，II-390,pp.780-781,1996.

黒田正寿，小作好明，内島邦秀，池永均，山田正，中津川誠，荒木隆：山地および平地における降雨分布に関する研究，第 51 回土木学会年次学術講演会講演概要集，II-381,pp.762-763,1996.

小作好明，池永均，山田正，内島邦秀，荒木隆，黒田正寿：地形の影響を受ける降雨の特性に関する研究，第 51 回土木学会年次学術講演会講演概要集，II-386,pp.772-773,1996.



山田正, 池永均, 藤沢充哲, 森田寛, 中津川誠: レーダ雨量計を用いたティーセン法の精度に関する研究, 水文水資源学会 1996 年研究発表会要旨集, pp.52-53,1996.

池永均, 山田正, 内島邦秀, 中津川誠, 藤沢充哲, 森田寛: レーダ定数の同定手法に関する研究, 第 23 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.142-143,1996.

池永均, 山田正, 内島邦秀, 小作好明, 黒田正寿: 風が山地流域における降雨量分布に与える影響に関する研究, 第 23 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.136-137,1996.

池永均, 山田正, 内島邦秀, 坂憲浩, 本田尚史: 流域平均降雨量の推定誤差に関する研究, 第 23 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.144-145,1996.

池永均, 山田正, 内島邦秀, 斉藤大作, 坂憲浩, 松浦直, 神谷信弘: エアロゾルの空間分布を考慮した降雨の数値的研究, 第 23 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.138-139,1996.

山田正, 日比野忠史, 池永均, 森永博史, 藤沢充哲, 中津川誠: レーダ動画像を用いた短時間降雨予測の可能性に関する研究, 第 50 回土木学会年次学術講演会講演概要集, pp.32-33,1995.

荒木隆, 山田正, 池永均, 杉山知, 斉藤大作, 松浦直: 地形形状と風速が降雨現象に及ぼす影響に関する一考察, 第 50 回土木学会年次学術講演会講演概要集, pp.24-25,1995.

池永均, 山田正, 中津川誠, 久米仁志, 小作好明: 2次元降雨モデルを用いた地形性モデルの数値解析, 水文・水資源学会 1995 年研究発表会要旨集, pp.250-251,1995.

藤吉康志, 播磨屋敏生, 山田正, 福山力, 稲毛正昭, 太田幸雄, 池永均, 斉藤大作: 長大立坑を用いた雲物理実験, 水文・水資源学会 1995 年研究発表会要旨集, pp.246-247,1995.

池永均, 山田正, 坂憲浩, 松浦直: エアロゾルを考慮した降雨に関する数値的研究, 水文・水資源学会 1995 年研究発表会要旨集, pp.264-265,1995.

内島邦秀, 山田正, 坂憲浩, 久米仁志: 暖かい雨における強い降雨強度の発生原因に関する研究, 第 22 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.174-175,1995.

内島邦秀, 山田正, 斉藤大作, 松浦直: 山地地形の勾配と標高が降雨に及ぼす影響に関する数値的検討, 第 22 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.172-173,1995.

内島邦秀, 山田正, 鈴木敦, 志村光一: 降雨の発生機構と雨滴粒径分布に関する研究, 第 22 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.202-203,1995.

内島邦秀, 山田正, 荒木隆, 小作好明, 石野伸一: 山地流域における降雨量分布に関する研究, 第 22 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.204-205,1995.

日比野忠史, 中津川誠, 山田正: 動画によるレーダ雨量計データの解析に関する考察, 土木学会第 49 回年次学術講演会講演概要集, II-36,pp.72-73,1994.9.

斉藤大作, 松浦正典, 山田正: 山地流域における地形性降雨の分布特性, 土木学会第 49 回年次学術講演会講演概要集, II-32,pp.64-65,1994.9.

山田正, 日比野忠史, 森永博史, 中津川誠: 動画によるレーダ画像の解析, 水文・水資源学会 1994 年研究発表会要旨集, pp.42-43,1994.

藤吉康志, 播磨屋敏生, 稲毛正昭, 山田正, 日比野忠史, 坂憲浩, 杉山知: 蒸発・凝結を考慮した立坑内での熱収支について, 水文・水資源学会 1994 年研究発表会要旨集, pp.222-223,1994.

藤吉康志, 播磨屋敏生, 稲毛正昭, 山田正, 日比野忠史, 杉山知: 水蒸気不飽和状態での雲粒子の生成に関する基礎的研究, 水文・水資源学会 1994 年研究発表会要旨集, pp.220-221,1994.

山田正, 日比野忠史, 出茂茂, 鈴木敦, 蓑島弥成: 新しい雨滴粒径計測装置の測定精度に関する研究, 水文・水資源学会 1994 年研究発表会要旨集, pp.218-219,1994.

山田正, 日比野忠史, 中津川誠, 藤沢充哲: レーダ雨量計を用いた流域平均雨量の算定, 水文・水資源学会 1994 年研究発表会要旨集, pp.236-237,1994.

山田正, 日比野忠史, 中津川誠, 荒木隆: 山地流域における降雨量分布特性, 水文・水資源学会 1994 年研究発表会要旨集, pp.230-231,1994.

山田正, 日比野忠史, 蓑島弥成, 坂憲浩: 雨滴の衝突係数に関する研究, 第 21 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.178-179,1994.

山田正, 日比野忠史, 中津川誠, 荒木隆, 塚本守: 山地流域における流域平均降雨量に関する考察, 第 21 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.200-201,1994.

山田正, 日比野忠史, 中津川誠, 森永博史, 藤沢充哲: 新しいレーダ定数とその物理的意味に関する一考察, 第 21 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.194-195, 1994.

山田正, 日比野忠史, 鈴木敦, 菊地泰隆: 降雨観測における観測面積と観測時間の与える影響, 第 21 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.196-197,1994.

山田正, 日比野忠史, 深和岳人, 石野伸一: 御在所山における風と降雨の関係, 第 21 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.176-177,1994.

山田正, 日比野忠史, 松浦正典, 斉藤大作: 蒸発散が地形性降雨に与える影響, 第 21 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, pp.192-193,1994.

鈴木敦, 蓑島弥成, 日比野忠史, 山田正: レーザーを用いた雨滴粒径分布測定器の作製と測定結果, 第 48 回土木学会年次学術講演会講演概要集, pp.156-157,1993.

森永博史, 荒木隆, 日比野忠史, 山田正, 中津川誠: レーダ雨量計の精度に関する一考察, 第 48 回土木学会年次学術講演会講演概要集, pp.158-159,1993.

荒木隆, 日比野忠史, 山田正, 中津川誠: 地上雨量計による地形性降雨の観測と解析, 第 48 回土木学会年次学術講演会講演概要集, pp.160-161,1993.

松浦正典, 日比野忠史, 山田正: 冷たい雨のモデルを用いた 1 次元及び 2 次元地形性降雨の解析, 第 48 回土木学会年次学術講演会講演概要集, pp.164-165,1993.

杉山知, 深和岳人, 山田正, 日比野忠史, 播磨屋敏生, 藤吉康志, 稲毛正昭 : 長大立坑を利用した準実スケールでの雲物理実験, 第 48 回土木学会年次学術講演会講演概要集, pp.166-167,1993.

Yamada,T., Hibino,T., Fukawa,G., Matsuura,M., Fujiyoshi,Y., Harimaya,T., Inage,M.: Quasi-Prototype Experiments of Cloud Physics Using Long Shaft in the Mine, Proc. of XXV Congress of I.A.H.R. Vol. I ,pp.113-118,1993.

Yamada,T., Hibino,T., Matsuura,M., Fukawa, G.: Numerical Simulation of Precipitation Considering Cloud Microphysics Processes, Proc. of XXV Congress of I.A.H.R. Vol. I ,pp.127-134,1993.

Hibino,T., Yamada,T., Nakatsugawa, M.: Wind Field in Meso- $\beta$  Scale Caused by Orographic Effect, Proc. of XXV Congress of I.A.H.R. Vol. I ,pp.135-142,1993.

蓑島弥成, 鈴木敦, 日比野忠史, 山田正 : 雨滴の成長過程に関する研究, 水文・水資源学会 1993 年研究発表会要旨集, pp.206-207,1993.

松浦正典, 日比野忠史, 山田正 : 雲物理実験と降雨の 1 次元及び 2 次元数値計算, 水文・水資源学会 1993 年研究発表会要旨集, pp.208-209,1993.

杉山知, 深和岳人, 松浦正典, 稲毛正昭, 播磨屋敏生, 藤吉康志, 日比野忠史, 山田正 : 長大立坑を利用した準実スケールでの雲物理実験 (その 2) , 水文・水資源学会 1993 年研究発表会要旨集, pp.210-211,1993.

鈴木敦, 日比野忠史, 山田正 : レーザ光を用いた雨滴計の試作とそれを用いた雨滴粒径分布の観測, 水文・水資源学会 1993 年研究発表会要旨集, pp.212-213,1993.

森永博史, 中津川誠, 日比野忠史, 山田正 : レーダ雨量計と地上雨量計との比較研究, 水文・水資源学会 1993 年研究発表会要旨集, pp.214-215,1993.

荒木隆, 日比野忠史, 中津川誠, 山田正 : 流域スケールでの降雨特性の解析, 水文・水資源学会 1993 年研究発表会要旨集, pp.220-221,1993.

大藤善康, 日比野忠史, 山田正, 土屋十囿 : 湧水の流出と降雨の関係, 水文・水資源学会 1993 年研究発表会要旨集, pp.254-255,1993.

深和岳人，山田正，日比野忠史，播磨屋敏生，藤吉康志，稲毛正昭：長大立坑を利用した準実スケールでの雲物理実験，第20回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，pp.138-139,1993.

鈴木敦，蓑島弥成，山田正：レーザ光を用いた雨滴計の作製（その1），第20回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，pp.142-143,1993.

松浦正典，杉山知，山田正，日比野忠史：鉾山の長大立坑を用いた雲の実スケール実験とその数値シミュレーション，第20回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，pp.144-145,1993.

荒木隆，森永博史，日比野忠史，山田正：山地流域における降雨特性（夕張岳を例として），第20回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，pp.148-149,1993.

稲毛正昭，山田正，藤吉康志，松浦正典，深和岳人：鉾山の長大立坑を用いた雲物理実験（その1），水文・水資源学会1992年研究発表会要旨集，pp.76-79,1992.

深和岳人，松浦正典，茂木正，山田正：雪及び氷晶を考慮した冷たい雨の数値シミュレーション，水文・水資源学会1992年研究発表会要旨集，pp.80-83,1992.

渡辺武彦，山田正，品川守：新記録の出現理論に基づく大雨の発生頻度と再帰年に関する研究，水文・水資源学会1992年研究発表会要旨集，pp.252-255,1992.

渡辺武彦，山田正：新記録の出現理論に基づく大雨の発生頻度に関する研究，第19回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，pp.120-121,1992.

松浦正典，深和岳人，茂木正，山田正：雪及び氷晶を考慮した冷たい雨のシミュレーションと降雨モデルに関する研究，第19回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，pp.122-123,1992.

山田正，渡辺武彦：大雨の発生確率に関する理論的考察，第19回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，pp.124-125,1992.

既存ダムを用いた新しい洪水調節手法に関する論文  
(査読付き論文)

北田悠星，菊地慶，岡部真人，山田正：気象庁の降水短時間予報を用いて既存のダムの洪水調節機能を向上させる手法の提案，水工学論文集，印刷中，2010

下坂将史，呉修一，山田正，吉川秀夫：既存ダム貯水池の洪水調節機能向上のための新しい放流方法の提案，土木学会論文集 B，第 65 巻，No.2,pp.106-122, 2009.

下坂将史，呉修一，戸谷英雄，山田正，吉川秀夫：既存ダム群の洪水調節機能向上のための新しい放流方法の提案，土木学会水工学論文集，第 52 巻，pp.511-516, 2008.

戸谷英雄，秋葉雅章，宮本守，山田正，吉川秀夫：ダム流域における洪水流出特性から可能となる新しい放流方法の提案，土木学会論文集 B，第 62 巻，No.1, pp.27-40, 2006.

---

(口頭発表論文)

腰塚雄太，宮本守，山田正，戸谷秀雄：前期放流によるダム放流量の決定方法とその洪水水位低減効果に関する研究，土木学会第 59 回年次学術講演会，II-065, 2004.

下坂将史，腰塚雄太，戸谷英雄，山田正：流出特性に着目したダム放流量の決定方法とその洪水水位低減効果に関する研究，第 60 回年次学術講演会講演概要集，部門 2 - 057,2005.

腰塚雄太，宮本守，戸谷英雄，山田正：流域の流出特性に着目した合理的なダム放流量の決定方法に関する研究，第 32 回関東支部技術研究発表会，II-3-99, 2005.

下坂将史，呉修一，戸谷英雄，山田正：洪水流出特性に基づくダム貯水池操作

に関する研究, 水文・水資源学会 2006 年研究発表会要旨集, pp.80- 81,2006.

下坂将史, 呉修一, 戸谷英雄, 山田正: 洪水時におけるダム放流量の決定手法に関する研究, 第 33 回関東支部技術研究発表会, II-1-19,2006.

S.Masashi, K.Shuichi, K.Yuta, T.Hideo, Y.Tadashi : Reservoir Operation Based on Runoff Characteristics in A Basin, 3rd Asia Pacific Association of Hydrology and Water Resources, 2006.

腰塚雄太, 下坂将史, 戸谷英雄, 山田正: 確率予報を用いたダムによる事前放流量の決定手法に関する研究, 第 33 回関東支部技術研究発表会, II, 17, 2006.

菊地慶, 呉修一, 戸谷英雄, 山田正: 流出特性に基づく事前放流を用いたダムゲート操作手法の構築, 土木学会第 62 回年次学術講演会,II-065, 2007.

菊地慶, 呉修一, 戸谷英雄, 山田正, 吉川秀夫: ダムの治水機能向上を目的とする事前放流手法の提案, 第 34 回関東支部技術研究発表会, 2007.

菊地慶, 呉修一, 戸谷英雄, 山田正, 吉川秀夫: ダムの治水機能向上を目的とする事前放流手法の提案, 第 35 回関東支部技術研究発表会, II, 68, 2008.

K.Kei, T.Hideo, Y.Tadashi, K.Hideo : A study on Reservoir Operation Based on Runoff Characteristics of a Basin, 4th Asia Pacific Association of Hydrology and Water Resources, 2008.

北田悠星, 菊地慶, 呉修一, 山田正, 岡部真人: 降水短時間予報を用いたダム放流量の新しい手法の提案, 第 35 回関東支部技術研究発表会, 2008.

Yusei Kitada, Kei Kikuchi, Masato Okabe, Tadashi Yamada : A NEW TECHNIQUE OF DISCHARGE RELEASE FROM DAM RESERVOIR FOR FLOOD CONTROL, World City Water Forum, 2009.

北田悠星, 菊地慶, 岡部真人, 山田正: 降水短時間予報を用いた新しいダム放流手法の効果検証, 土木学会第 64 回年次学術講演会, 2009.

北田悠星, 岡部真人, 山田正: 降水短時間予報を利用した既存ダムの洪水調節

手法の提案とその効果の検証, 第 36 回関東支部技術研究発表会, 2009.



## 関連資料リスト

耐越水堤防整備の技術的な実現性検討委員会，土木学会.

山田正：公共事業の意思決定法はいかにあるべきかーダム建設事業を例としてー，土木学会論説 2009.9 月版，2009.

社団法人日本経済調査協議会：水循環の新秩序を構築せよー「水」を生かした豊かな社会にむけてー，調査報告 2009ー3,2010.

山田正：真実と態度，水文・水資源学会誌 巻頭言，vol.22, No.2, pp.92-93, 2009.

山田正：地球温暖化問題への対応，土木学会 水工学委員会・海岸工学委員会，水工学シリーズ 09-A-7,2009.

土木学会 地球温暖化対策特別委員会：土木学会 地球温暖化対策特別委員会 報告書 地球温暖化に挑む土木工学,2009.

丹保憲仁，竹村公太郎：人と水 今日から明日へ，財団法人北海道地域総合振興機構,2010.